

8-4-33 マネジメントシステム委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の運営方針

「システム改善」「環境配慮」「PFI」及び「PM」の4つの専門委員会により、広くマネジメントの実効性向上と普及拡大を目指し、管理、業務の両面から活動を進めた。

委員会の活動目的は次の4点に関連する調査・研究および広報とした。① マネジメントシステムの実効性向上、② 環境配慮の推進、③ PFI/PPP 市場拡大・啓発活動の取り組み、④ CM/PM 関連技術の向上・周知とマネジメント領域の拡大への取り組み。

(2) 委員会の開催

委員会は12回開催した。

(3) 白書ならびに要望と提案

「建設コンサルタント白書」で複数パートを執筆した。また、「要望と提案」においては「人材確保・育成、新たな事業推進形態の環境整備」の原稿を作成した。

(4) マネジメントセミナーの開催

例年は7月に全国9支部で開催してきたが、新型コロナウイルス感染症蔓延のため、オンラインセミナーとして開催した。

a) 開催日：令和2年9月3日(木)、4日(金)及び5日(土)の3日間

b) 配信場所：スタジオからの高品位なライブ配信(後日、見逃し配信あり)

セミナー実施内容は、「PPP/PFIの政策動向と事例紹介」、「CM方式の更なる活用に向けて」、「環境配慮経営の実践に向けて」、「マネジメントシステムの効果的運用に向けて」及び「アセットマネジメント」の全5講で、会員参加は405社1,679名、発注者は18名と合計1,697名の参加をいただいた。アンケート調査結果によれば、各セッションとも高い評価を得て、「非常に役立つ」、「役に立つ」との回答が90~98%、また99.6%の方々から今後の継続開催の要望があった。

(5) PFI 専門家派遣、PFI セミナーの開催等

PFI 専門委員会では、内閣府の協力依頼に基づく地方自治体への講師派遣に9件対応した。3月には内閣府 PPP/PFI 推進室と意見交換会を昨年度に引き続き開催した。また PFI セミナーを「PPP/PFI のセカンド・ステージに向けた今後の拡大・発展」と題して録画配信方式で行った(令和3年4月公開)。

(6) PM セミナーの開催等

PM 専門委員会では、PM セミナーを集合方式とライブ配信併用で開催し、265名が参加し好評を博した(令和2年12月8日)。また、国土交通省土地・建設産業局から地方公共団体を対象にした「ピュア型 CM ガイドライン(案)」が公表されたが、その作成に委員として参加し協力した。

(7) 環境配慮の手引き更新、アンケート実施等

環境配慮専門委員会では、「環境配慮の手引き」を更新し2020年版とした。また12月に「環境配慮に関する企業アンケート」を実施し、結果をとりまとめた。さらに「社会資本政策のグリーン化」をテーマとした講演会をライブ配信で開催した(令和3年2月9日)。

(8) マネジメントシステムに関する勉強会開催等

システム改善専門委員会では、ISO 認証に関する企業アンケートの実施、日本アセットマネジメント協会(JAAM)への論文発表、「『協働の時代』のアセットマネジメント」と題した勉強会を開催した(令和3年2月22日)。

(9) その他の活動

未来塾の下で事業促進 PPP ワーキングを国と開催し、「事業促進 PPP ガイドライン」改定に協力した。また、土木学会(ISO 対応特別委員会)や国土交通省の委員会に委員として参加する他、JAAM の活動にも協力している。

2. 次年度の活動について

令和3年度より、新たにアセットマネジメントの社会実装を主眼とした専門委員会を新設し、活動を開始することとした。

(マネジメントシステム委員会委員長 水野 高志)